

第六諸般政務施行、成績

一、法令本期間内府ニ於テ發布シタル府令訓令告示
其、他之ニ関スル重要件目ヲ列掲スレハ尤、如シ

豫算決算

一、大正三年度関東州地方費收入支出豫算
一、大正三年度関東州地方費會計收入支出決算

府令

一、旅順港取締規則中改正
一、重要物産取引所取引人免許、失効ニ関スル改正
一、原動機取締規則
一、大連港水先規則中改正

一、測量標規則

一、死刑執行規則中改正

一、土地官民有己分、争ニ関スル件

一、関東都府土地審査委員會規則施行細則

一、関東州土地調査令施行細則

一、兵器彈藥「モルヒネ」コカイン及其、注射器等取締規則

一、重要物産取引規則施行規程中改正

一、関東州居住支那人露領旅行證明規則

一、関東都府高等女學校規則中改正

一、議會取締規則

一、石炭輸出ニ関スル件

訓令

一 物品出納規程通信官署施行細則廢止
 一 物品出納役制度改正
 一 關東都督府警察官吏旅費規則中改正
 一 原動機取締規則施行細則
 一 關東都督府臨時土地調查部規程
 一 關東都督府所屬船舶乘組員航海日額旅費規則
 一 關東都督府官有財產保管規程中改正
 一 關東都督府官報事務規程中改正
 一 關東都督府官房庶民政部託錄規程中改正
 一 產婆試驗委員會規程
 一 氣象電報取扱規則中改正

告示

一 三千里堡外二電信取扱所設置
 一 大連水道家事用給水請負
 一 旅順水道家事用給水請負
 一 旅順水道船舶給水請負
 一 在外指定學校指定
 一 中等教育試驗檢定、件
 一 渡切費交付告示中改正
 一 奇兒溝附近給水請負
 一 產婆試驗施行、件
 一 草河口郵便局廢止
 一 都督府醫院藥價及諸料金ニ關スル改正
 一 小學校教科用圖書
 一 重要物產取引所建値ニ關スル改正

一連山關外三電信取扱所電報受付時間制限廢止
 一關東都督府高等女學校名稱位置中改正
 一電話加入區域外通話區域通話料電話呼出料中改正
 一本溪湖郵便局ニ於テ電話交換事業開始及電線託送
 電報取扱ノ件
 一電話ノ料金ニ關スル土地ノ區別中改正
 一關東州下水規則施行地域中改正
 一連山關郵便局設置
 一連山關電信取扱所ノ電報配達事務廢止
 一通信館署經費ノ一部渡切局所中改正
 一關東都督府觀測所ニ暴風雨標柱設置
 一野生鳥獸保護ノ件
 一旅順外七電信取扱所電報受付時間制限廢止
 一內務省令第十八號ニ依ル醫藥品輸入證明ニ關スル件
 二外事
 本期間涉外ニ關スル主要ナル事項ハ概テ次ノ如シ
 一復縣巡警匪徒討伐ノ件 四月二十九日復縣正預
 巡警ニ於テ行ヒタル同管下太平庄ニ起リタル匪徒
 ノ討伐ハ我租借地ニ接近シテ危險ナリシヨリ其ノ
 交戦ヲ差メ且匪徒九名ヲ引致シ以テ租借地ノ安寧
 上必要ノ措置ヲ執リタル事ニ對シ奉天交涉員ハ我
 警官ニシテ租借地ノ山頂ヨリ旗ヲ振リテ匪徒ヲ指
 揮シ又ハ保護シツ、朝陽寺派出所ニ引揚ケタリト
 ノ誤報ニ接シタル趣ヲ以テ奉天總領事ヲ經テ未照



セリ依テ具カニ右ノ事状ヲ回答シ併セテ其説明方
ヲ同領事ニ依頼シタリ

二、開原附屬地ニ於ケル我警察權侵害ニ關スル件

九月六日開原附屬地居住支那人某ヲ附屬地内ニ於
テ支那巡警區官等四名カ捕縛セシヲ九月九日我警
官カ其ノ一巡官ヲ逮捕シタル際右ニ關スル事情ヲ
知悉セシヲ以テ鈐嶺領事ヲ經テ鈐嶺知縣ニ立派ノ
結果(一)知縣ノ謝罪(二)主任區官ノ免職(三)將來ノ保障
(四)被逮捕者ノ引渡ヲ不可能ナラシメタル謝罪ヲ要
求セシニ同知縣ニ於テ其ノ全部ヲ実行シタルニ因
リ十八日本件ヲ結了セリ

三、復金西州境患邊ニ出改メル匪徒ニ關スル件

復州金州交邊地方ナル尹家平房一帶ニ三群ノ匪賊
出沒シ内外人ノ安寧ヲ妨害スルコト以テ金州警務署
ニ於テ支那側地方官ト共同討伐スルカ或ハ誘匪ヲ
界外ニ驅逐スルカ苦クハ逮捕引渡ヲ得應趣奉天交
渉員ヨリ奉天總領事ヲ經テ朱照アリ依テ調査ヲ遂
ケシニ右ノ如キ事實之ナキヲ確メタレハ四月六日
該要求ニ應セサル旨ヲ回答セリ

四、支那官憲州内演船ヨリ罰金ヲ徴収セシ件 五月

二十三日熊岳城沖合演場ヨリ帰航中、旅順民政署
管内支那人、一所有船ハ風浪ヲ避ケ復州娘々宮ニ
寄港セシニ自家漁業用塩約六百斤ヲ積載シ居ルヲ
緝私局員二名、為ニ塩務章程違反ナリトシ罰金二

百五十元ヲ課セラレタル件ニ関シ本入ヨリ護塩ハ
全ク自家用ナル理由ヲ以テ罰金返還方願出ニ付領
事ヲ經テ右運塩使ニ交渉セシニ同侯ハ法規上奈何
トモ致シ難キモ將來ハ能ク限り特別ノ取扱ヲ為ス
ハキ趣キ田舎ニ接シセリ由テハ仍ホ進テ主張スハ
キ証拠ヲ有セサレハ同領事ノ意見ニ從ヒ今後ノ不
利益ト成ラサル様取計方ヲ依頼シ置ケリ

五、長春ニ於テ露國憲兵逮捕行為ニ関スル件 六月
十三日露國憲兵二名長春警務署ニ出頭シテ五名ノ
露國人ヲ逮捕ノ為ニ來レルヲ告ケ且我官憲ノ助力
ヲ得度旨申出タルモ偶署長以下責任者不在ナリシ
ヲ以テ署員ハセテ長春領事ニ通報シ其ノ指揮ニ依

關東都督府

リテ成規ノ如ク該請求ニ應スヘキ旨ヲ回答セシニ
露國憲兵ハ一先退却セシカ爾後右憲兵ハ長春駅ニ
赴キ其ノ露國人ヲ逮捕シ寛城子ニ引致シ去リタ
ルヲ探知セシ件ニ對シ長春領事ヨリ露國領事ニ交
渉セシニ同國領事ヨリ本件ノ發生ヲ遺憾トシ且我
方ノ寛恕ヲ希望スル旨回答アリタル趣同領事ヨリ
報告アリタリ

六、中五地帯巡防隊撤退ノ件 四月十六日巡防馬隊
三十三名能岳城方面ヨリ中五地ナル復州ニ向ケ急
行シタル警報ニ接シタレハ直ニ奉天統領事ヲ經テ
右ノ撤退方ヲ嚴重ニ交渉ノ結果十九日ニ至リ全部
蓋平方面ニ引揚タリ

七、大連税関収入金取扱ニ係ル件 大連税関収入金
ノ送金ハ豫テ協定セル所ニ準シ正金銀行ニ於テ取
扱来リシニ大正二年十二月同税関長ハ北京総税務
局ノ命ニ依リ右銀行ニ對シ該協定第五項ヲ改正シ
他銀行ニモ取扱ハシムルノ自由ヲ得ンコトヲ申出
タルニ付同税関長ハ内該ノ結果同税関長モ其ノ利
益ノ点ヲ考慮シ北京総税務局ハ内申スル所アリタ
ルモ本問題ハ既ニ一般命令ニ依リテ各税関ニ通達
後ニ係リタレハ大連税関長折角ノ尽力モ其ノ効ナ
ク終ニ送金ニ関スル正金銀行ノ義務ヲ解除セラレ
本年四月十八日より大連税関ハ他ノ銀行ニモ送金
ヲ取扱ハシメ得ルコトニ成レリ然レトモ實際ニ於
テハ正金銀行ノ送金率ハ最も低利ナルヲ以テ税関
ハ急ニ他銀行ニ移スコト無カルハク觀察セラル

八、禁制品包有ハ郵便物ニ関スル件 本年三月十
八日大連税関ヨリ輸入禁制品タル阿片及銃器ヲ包
有セル小包郵便物ヲ發見シ之ヲ沒收セシカ大連郵
便局ニ對シ引渡ヲ要求セルモ該郵便局ニ於テ應セ
サルニ付当府ノ説明ヲ得度旨照會ニ接ス抑モ本問
題ハ根本ニ於テ複雑ナル疑義アリ税関ト当府トノ
見解全然一致セサル肅アルモ当府ハ先ツ主義トシ
テ犯則郵便物ノ処分ハ我権限ニ屬ストノ解釈ヲ以
テ説明ヲ請ハタルニ税関側ハ之ニ服セス再三照復
セタルニ從テ問題ハ益々優惠ニ進行シ遂ニ税関側ハ

之ヲ北京総稅務局ニ報告シテ外交問題ニ移サント
、意嚮ヲ漏ヌニ至リタルモ五月十二日民政長官ト
大連稅關長ト直接交渉、結果互ニ其ノ主張ヲ固執
シタル往復文書ヲ撤回シ以テ問題ノ根本的解決ヲ
避ケタリ而シテ尔来斯種犯則郵便物ハ郵便局ニ於
テ告發シ夫レ司法上、処分ニ附シ居レリ

九、新義州發、ハ宅郵便物中モルヒ子ヲ包有セルモ
、アルヨリ安東郵便局ハ同地稅關ヨリ検査ノ要求
ヲ受ケタルモ通過郵便物ノ故ヲ以テ之ヲ拒絶セシ
ニ同稅關長ハ該郵便物ヲシテ他、進送路ヲ取リ支
那内地ヲ通過セシメサルヲ安東領事ニ請求セ
ルニ對シ同領事ハ日支間ハ宅郵便約定ニ依リ該要
求ニ應セサルモ他、便宜方法ヲ執リ度旨答ヘタル
ニ同稅關長ハ暫定、便法トシテ通過郵便物ノモル
ヒ子ハ参考、爲其数量、通知ヲ受ケタキ旨申出ア
リ同領事ニ於テ之ヲ承諾セリ
備考 朝鮮發大連著モルヒ子、進送問題ニ付キ
懸案中、モ、アリ故ニ根本的解決ヲ見ル迄、便
法ヲ提言セル也

十、軍器密輸入ニ關スル件 九月十九日大連稅關長
ハ日本汽船神保丸ニ依リ玄海洋ヨリ大規模ナル兵
器、密輸入ヲ企テタル者アリトテ之ヲ取締法總稅
務司ヨリ電訓ニ接セシ趣ヲ以テ支府、援助ヲ得後
肯ヲ承認セリ由テ之ニ對シ夫レ年配ヲ了シ同稅關

二通知セシモ尔後其ノ事実ナシ

土、汽車博覽會出品物關稅特別取扱、件
社主催トナリ、滿鉄全線主要各駅ニ於テ汽車博覽會
開催ニ付、安東及大連税關ニ於ケル通關手續ニ便宜
ヲ與ヘラレ度旨出願ニ依リ、大連税關長ニ協議、結
果税關評定價額、十分、一ヲ供託シ置キ、滿洲内
地ニ於テ賣捌タルモノニ對シ、事後ニ於テ課税スル
方法ニ依リ取扱フコト、成レリ、四月六日

三、附屬地ニ於テ支那官憲、塩検査ニ關スル件、七

月十三日、當口緝私局長、同地駐通附屬地停車場内
ニ在リ、塩ノ數量ヲ検査スル為、隨時后負ヲ構成ニス

張セシムルニ付キ、同意ヲ得度旨申込メリ、該理由ハ
緝塩ヲ防遏スル目的ニ存シ、且鉄嶺附屬地ニ於テハ
右ノ如キ場合ニハ、我警察官立會、上検査ヲ為シ、
アル趣キヲ附言セリトテ、年莊領事ヨリ之ニ對ス
ル意見ヲ照會シ、来レリ、由テ鉄嶺領事ニ照會セシニ
古ハ支那側、誤解ナルヲ確メ、更ニ査査ヲ遂ケ、牛莊
領事ハハ主義トシテ、支那官憲ノ検査ヲ排拒シ、若シ
要スル場合アル時ハ、我官憲ニ於テ取調、上具、結
果ヲ支那側ニ通知スルコト、スル意見ヲ回答シ、仍
ホ其ノ趣旨ヲ關係各領事ニ通知セリ

十三、旅行者退去方要求ニ關スル件、成田大尉及宮
崎吉藏ハ、奈曼旗ニ旅行ニ赴ケ、月同地ニ滞在セリ、カ

成田大尉ハ病氣ナレハ速ニ退去ヲ要求セルモ面々
ハ肯セサルニ付召還相成度旨熱河都統ヨリ依頼ノ
旨ヲ以テ奉天總領事ヲ經テ同地交渉ヨリ東照ア
リシモ在函ハ執照ヲ携帶旅行セル者ニシテ今尚
ホ其期間ニ属セル趣旨ヲ以テ九月十八日附ニテ該
要求ヲ付ハタリ

十四、支那革命、為被リタル損害ニ關スル件 第一
次革命、為鉄嶺郵便局、被リタル損害ニ關シ要求
中、如九月二十三日右損害額一百十七兩二錢五分
ヲ鉄嶺領事ヲ經テ送金ニ束レリ

十五、本期中取扱タル海外旅客ニ係ル件 教尤、如シ

露	南洋方面	政	北米合衆國
下付十九件 返納四件	下付二件 返納二件 不下付一件	下付一件 返納十一件	返納一件

十六、本期中取扱タル外國軍隊軍需品輸送承認ノ件
教尤、如シ

支那軍隊軍需品汽車輸送	露國軍隊軍需品汽車輸送
八十四件	二十二件

已上、外大石橋警務支署管内ニ於ケル海外事件、
重ナルモ、ヲ採録スルコト尤、如シ

一、塩稅弓長代理不法行為ノ件 四月二日大石橋塩

税局長代理姜超ハ同附屬地居住支那人塩商姜張西
人ニ對シ脱税塩ノ嫌疑アリトテ帳簿ヲ押収シ取調
ヲ為セシ結果張ニ於テ塩六十石ニ係ル脱税四百五
十圓アルヲ發見セシカハ張ハ大ニ狼狽セシモ元來
賄賂ヲ目的トセル極弊ナレハ洋錢一百五十圓ヲ同
月迄交付スヘキ契約書ヲ作成シ右姜超トノ間ニ授
受ヲ了セルモ尔後姜超ハ事端ヲ惹起セシコトヲ恐
レ談契約ヲ破棄シ更ニ脱税高ヲ五石六斗ト見做シ
之ニ對テハ罰金額四十ニ圓ヲ公然ノ手續ヲ以テ細
付セシメタル件ニ對シ八日同支署ヨリ濫リニ附屬
地内ニ立入り帳簿ヲ検査セシ等ノ不法行為ヲ責メ
タルニ姜超ハ支署ニ出頭シ全ク附屬地ナルヲ知ラ
サリシ事情ヲ陳謝シ謝罪狀ヲ提出セリ

一、支那巡警附屬地内侵入ノ件 五月二十六日大石
橋管内分氷賦構内ニ動作シ居タル支那若力某巡
警数名ニ因リテ逮捕セリ右若力ハ曾テ数名ノ仲間
ト共謀シ海城、支那民家ニ侵入シ金品ヲ強奪シタ
ル者ナリト云ハルモ何等ノ交渉ナリ附屬地ニ立入
リ犯人ヲ逮捕スルガ如キハ不都合ニ付キ將來此
ノ如キ事ヲ再演セサル様嚴重ニ戒告ヲ加ヘリ
一、本邦人退去ニ関スル件 邦人近藤某明治三十九
年以來實業商兼賣藥商トシテ海城縣虎嶺屯ニ居住シ
同地支那人間ニ多少信用ヲ博シ相互資産ヲ有スル
者ナルモモルヒ子ヲ零賣セルヨリ支那官憲ヨリ奉
天總領事ニ宛同人ノ退去ヲ要求シ來レル趣ヲ以テ
牛莊領事、通牒ニ接セシカ結果管内ヨリ任意退去

ヲ命セラレタリ

一、豫備巡警獲砲ニ関スル件 九月十三日海城預備
巡警某ハ同附屬地外畑中ニ一芝那人、高果ヲ摘取
セシトスルヲ獲見シ之ヲ逮捕ニ及ハントセシニ賊
ハ刃物ヲ以テ抵抗シ附屬地ニ逃入セシヨリ数名ノ
預備巡警ト共ニ追跡シ威嚇、為ニ獲砲セシ件ニ對
ニ武装ノマ、無斷附屬地ニ逃入ル、ミナラス濫リ
ニ獲砲シテ人心ヲ騷カセシ如キハ不都合ニ付嚴重
ニ處来ヲ戒メ同巡警ヨリ謝罪狀ヲ提出セシメタリ

三、警務

一、本期間警察事務ニ係ル府令及告示（別項ニ掲グ）
、外例規ニ関シ各警察官署長ニ通牒シタル重ナル

關東都府

事項次、如シ

（一）講會取締規則公布ニ付之カ取扱方法ヲ定ム 九月三日
（二）警察義務貯金方法ヲ改定シ各階級ヲ通シテ之ヲ
勵行スルト共ニ從來、郵便貯金ヲ銀行預金ニ改ム
四月十八日

（一）學術研究、為ニ出張ヲ命スル者、推薦方法旅費支
給方法及出張費心得ヲ示ス 五月八日
（二）武道練習、際力量ニ任シ無理ナル動作ヲ敢テシ
テ道ヲ學フ、念之ニキ傾向アルヲ認メ注意ス 五月八日
（三）警察官吏、宿泊スル旅館及料金ヲ協定ス 六月二十三日
（四）職務上、傷病者取扱方法及療治料等給與方ヲ示
ス 六月二十三日
（五）匪賊警戒実行方法及警察用銃器彈藥保管方ヲ示

ス七月八日

二、本期間警察官署、新設廢止移轉又ハ変更ニ属ス
ルモノ次、如シ

(一) 鉦嶺警察署管内洞原ニ洞原警察支署ヲ設置シ洞

原警察官吏派出所ヲ廢止ス四月一日

(二) 安東警察署管内鷄嶺山支署ヲ廢止シ鷄嶺山警察

官吏派出所ヲ設置ス四月一日

(三) 撫順警察支署管内大山坑及楊柏堡、西地ニ各警

察官吏派出所ヲ設置シ尙ホ新町警察官吏詰所ヲ警

察官吏派出所ニ變更ス四月一日

(四) 奉天警察署管内文官屯駅ニ臨時設置シタル警察

官吏詰所ヲ撤廢ス(大正三年三月三十一日ニ係ル)

(五) 遼陽警察署管内沙河駅ニ沙河警察官吏派出所ヲ

設置ス九月二十三日

(六) 公主嶺警察支署管内四平街警察官吏派出所、一

部ヲ割キ北警察官吏派出所ヲ設置ス七月一日

(七) 本溪湖警察支署管内連山溪及橋頭、而警察官吏

派出所ヲ新築廳舎ニ移轉ス九月一日

三、警察配置

支那革命事件、爲最ニ臨時増員シタル巡查二百六

十八正三年三月末日限りモ廢止シ又安奉線警備

、爲特別ニ配置シタル巡查一百名ヲ經常費ニ移シ

各署、定員ヲ改メタリ此、廢止及變更ハ經費節減

ニ基キタルモノニシテ事務、繁閑ニ鑑ミタルニア

ラス現ニ支那内地、未開地ニ居住スル本邦人及

朝鮮人ヲ保護、爲警察官吏ヲ派遣スルノ必要ハ益

切ナルモ未タ全般ニ実行スル能ハサル状況ナレバ
 来年度ニ於テハ特ニ巡查三十五名ヲ増員スルノ見
 込ナリ現定員ハ九表ノ如シ

配置箇所	警視	警部	翻訳生	警部補	巡查	巡捕	嘱託
警察官練習所	1	2	1	3	1	1	4
旅順民政署	1	4	1	10	84	35	3
大連民政署	1	7	1	14	145	55	3
金州民政支署	1	4	1	15	131	120	3
管口警務署	1	4	1	8	55	20	3
牛莊警務署	1	1	1	5	33	10	1
遼陽警務署	1	1	1	12	11	20	3
奉天警務署	1	3	1	9	66	12	2
安東警務署	1	4	1	8	86	23	1
五頭警務署	1	1	1	3	79	15	2
長春警務署	1	4	1	9	79	15	2
統計	8	39	9	93	800	310	24

備考 本定員外ニ大連民政署管内ニ巡查三名長
 春警務署管内ニ巡查二名請願配置アリ

四、監督及教育ニ関シ本期間特ニ実施シタル事項九
 、如シ

(一) 警察巡視 八月六日より管内各警察官署ニ對スル
 警察巡視ヲ開始シ長春鐵嶺奉天及安東ノ各警務署
 所轄内ノ巡視ヲ了シ引續キ自余ノ方施行ノ豫定ナ
 リシカ時局ノ為中止セリ

(二) 監督者養成 前期未養成中ノ甲科練習生二十名

ノ教育ハ七月四日終了セリ此等卒業者ニ對シテハ
其ノ実務成績ヲ審査シ警部警部補特別任用規程ニ
依ル考試合格證書ヲ付與シ優良ナル監督官ノ候補
ヲ得タリ

(ハ)新任巡查、養成 四月二十七日新採用、巡查四
十六名ニ對シ第三十期乙科練習生、授業ヲ開始セ
シカ缺員補充、為特種教育ヲ施シ五月十二日各署
ニ配置ス○五月十五日ヨリ新採用、巡查四十三名
ニ對シ第三十一期乙科練習生、教育ヲ開始シ七月
十一日終了セリ○九月三十日新採用、巡查八十名
ニ對シ第三十二期乙科練習生、教育ヲ開始セリ○
已上、外臨時ニ採用シタル巡查三十四名ニ對シテ
ハ短期教育ヲ授ケ各署ノ缺員ヲ補充セリ

關東警察廳

(ニ)特殊教育 在東京警察官練習所第十一期生トシ
テ派遣中、警部一名警部補一名ハ七月三十一日終
了更ニ九月一日ヨリ開始、第十二期練習生トシテ
警部一名警部補一名ヲ選拔派遣シ目下受業中○四
月一日ヨリ内務省警保局主催、第七回消防講習會
講習員トシテ警部補二名ヲ派遣シ六月三十日終了
更ニ九月十五日ヨリ開催、第八回講習トシテ警部
補二名ヲ選拔派遣シ目下受業中○七月六日ヨリ三
週間東京高等師範學校内ニ於テ開催、中等教育第
二回講習會、講習員トシテ柔道教師一名剣道教師
二名ヲ派遣シ講習ヲ囑託セリ○七月十日ヨリ管内
各署ノ巡查中ヨリ武道教師、助手ヲ募集セシムハ
キ者及剣道柔道各三名ヲ選拔シ旅順民政署及練習

所ニ於テ常務ノ傍ニ特殊教育ヲ開始シ目下教養中

其巡查巡捕ノ命免ハ前期ニ比較スルニ充實ニ於テ
 巡查一百八十八人巡捕三十五人ヲ増加シ減員ニ於
 テ巡查八十二人巡捕十八人ヲ減少セリ而シテ巡查
 採用ノ方法ハ特別ノ技能アル者ヲ除ク外純テ内地
 ニ於テ募集シ居レリ本期募集シタル地方ハ長野縣
 長野及宮城縣仙谷ノ二ヶ所ニシテ共ニ五教、志願
 者手ヨリ優良ナル者ヲ採用セリ乃チ九表ノ如シ

巡查巡捕命免表 (大正三年上半期間)

區分	巡查 本季間	採用 後職 他官入	計	死亡	依願免職	事務都合 免職	懲戒免職	他官へ転職	休職	計
	新採用	後職	他官入	死亡	依願免職	事務都合 免職	懲戒免職	他官へ転職	休職	計
巡查	二〇三	二	二〇五	三	四七	一三	七	一二	一三	九五
巡捕	二〇三	二	二〇五	三	四七	一三	七	一二	一三	九五
比較増減	一五	二	一七	四	五七	九七	六	一三	一	一七七
前季間	一八八	二	一八八	一	一〇	八四	一	一	一三	一八二
本季間	五七	一	六七	一	二五	一〇	八	一	一	四三
前季間	三二	一	三二	一	三〇	一五	一六	一	一	六一
比較増減	三五	一	三五	一	五	五	八	一	一	一八

六巡查巡捕ノ勤務状況ハ九表ノ如シ其ノ前期ニ比
 シ定員及実員數ヲ減シタルハ定員改正ノ結果ニ因
 ル

巡查巡捕勤務成績 (大正三年上半期間)

區分	定員 延日數	缺員 延日數	実員 延日數	勤務 延日數	公傷公病 延日數	忌引祭日	休暇	缺勤	其他	実員百 分率
	本季間	本季間	本季間	本季間	本季間	本季間	本季間	本季間	本季間	本季間
巡查	一七、〇四二	四、二〇五	一四、八三七	一三、三九八	一、〇七九	一、二二六	四、八六八	一、七二八	二、一三八	九三、〇五
巡捕	一七、〇四二	四、二〇五	一四、八三七	一三、三九八	一、〇七九	一、二二六	四、八六八	一、七二八	二、一三八	九三、〇五

捕	巡	査
比較増減	前季間	前季間
三二	五、三八八	二、九八四
二五九	三、三八八	一、八八九
二九一	五、三〇一	一、六三二
九	五、〇四四	一、五二八
七一	九三	七六二
五	一七	一九二
一六〇	一三三	六、三四六
一六〇	五七四	一、八九一
二八	五一	一、八五二
三	九六、三五	九三、三三

七、本期間ニ於ケル警察賞與ノ施行状況ハセリ前期
 = 比々人負ニ於テ一百四人ヲ減シ金額ニ於テ七十
 六圓二十錢ヲ増加セリ前者ハ人民ノ奇特行為少カ
 リシニ基キ後者ハ警察職負ニ對スル行賞事項ノ増
 加セシニ因ル乃チ九表ノ如シ

警察賞與

區	本	前	比
別	期	期	較
警部警部補	一九	一五	四
巡査	二二六	一九七	二九
巡捕	九〇	八六	四
日本人	四一	一〇八	六七
支那人	二三	九七	七四
計	三九九	五〇三	一〇四
賞與金額	九四三、〇〇〇	八六六、八〇〇	七六、二〇〇

備考 本期間賞詞ノ事項ナシ
 八、巡査巡捕ノ懲戒処分ハ前期ニ比シ巡査三件ヲ増
 シ巡捕十件ヲ減セシ、ニ乃チ九表ノ如シ

懲戒処分

區	本	前	比
別	期	期	較
免職	七	七	一
減俸	二七	二六	一
記責	六	四	二
計	四〇	三三	七
免職	八	一	七
減俸	三	一	二
記責	一	一	〇
計	一二	二	一〇

九、在留民、取締 居留本邦人ハ歲ト此ニ増加シツ
 、アルナニハ無職無賴ノ徒ナキニアラレルモ近時
 、風潮ハ漸次秩序ヲ重シテ勤勉ノ美風ニ移リ行
 々、如リ風俗ヲ紊シ治安ヲ害スル等、廢ヲ以テ
 遠去ノ命令ヲ要スルモ、大ニ減少シ本期間州内外
 ヲ通シテ僅ニ三六ニ過キヌ以テ一般在民ノ状態如
 何ヲ觀察スルニ足ルハシ
 十、諸營業取締 警察取締營業者ハ漸次増加シ就中
 原動機使用業、如キハ其ノ最モ著シキモノニシテ
 本期間三十九件ヲ増シ而シテ其ノ新式機械ノ振付
 裝置等ニ於テモ亦日ニ面目ヲ改メ来レリ也ニ反シ
 風俗上乃至衛生上ニ多大ノ關係ヲ有スル特殊婦女
 、如キ漸次其ノ數ヲ減少シツ、アルハ居住民ノ秩
 序振整ニ家族的生活ニ當ル者、増加セル結果ナリ
 十一、犯罪 本期間ニ於ケル犯罪状況ハ竊盜ニ千四百
 七十四件、此ノ被害金額四万三千四百三十二円九十
 七銭四厘ニ達セルモ約其ノ半数ハ檢挙ニ係レリ詐
 欺横領、如キハ殆ロト其ノ全部檢挙スルコトヲ得
 タリ又馬賊強盜ニ至リテハ滿洲一帯ヲ該被害ニ關
 スル警察頼リニ到ルト雖管内ニ於テハ守備憲兵隊
 諸般軍社ト連絡、下ニ嚴戒ヲ施セル為漸次被害ヲ
 減シ本期間馬賊被害ニ件檢挙三件強盜被害三十四
 件檢挙二十七件ノ成績ヲ示セリ
 十二、各署管内ニ於テ警察事故ノ重要ナルモノヲ概記
 スルコト次ノ如シ

大連管内

一、本期間ニ於ケル犯罪数ハ一千五百二十件

検挙数ハ九百二十六件ニシテ前期間ニ比スレハ

犯罪ニ於テ一百四十八件検挙ニ於テ一百五件ノ

増加ヲ見ル所、如ク犯罪件数ノ増加シタルハ人

口ノ増殖セル社會ノ趨勢ニ伴フ自然ノ現象ニ因

ルト云又日獨、風要急ナルニ東シ内地朝鮮若リ

ハ奥地方ヨリ竜口方面ニ渡航セロトスル失職者

又ハ無賴ノ徒ノ踵ヲ接シテ未集ニ交戦ノ終熄期

ヲ窺ヒツ、アリミコト其一同ナリトス次ニ詐欺

及横領、益増加セントスル微倖アルハ一般市民

況不振ノ結果ナルヘシ事件ノ内容ハ多クハ商取

引上ニ於ケル契約粗漏ノ為一時姑息の手段ヲ以テ

利益ヲ獲得セントスル者及各商店、店員請負者

間ノ持込具、他ハ質取ヲ融通シテ業務ヲ営ミ居

リシ者等、自然失敗ヲ招キ一時窮策トシテ狡猾

ナル手段ニ出タル者ニ係ル是等、犯罪ハ相互間

ノ信用上ニ關係シ且又事件ノ性質下シテハ別ニ

犯罪ヲ構成スル素因タラリノミナラス刑事政

策上ヨリスルモ深リ追及スルヲ要セサルヲ以テ

当事者ヲシテ示談解決セシムル方法ヲ採リ来レ

ルモ純然タル詐欺師的行為ヲ弄シテ他人ヲ欺罔

シ或ハ依託物ヲ質消シタルカ如キ情状最モ悪ム

ヘキモノニ對シテハ依借ナリ適宜ナル措置ヲ施

セリ

二、交通取締 大連市、交通機関トシテハ電氣鉄道

入カ車承用馬車荷馬車及荷車ノ五種ニシテモカ
取締ニ關シテハ總ハス嚴重ナル注意ト警戒トヲ
拂ヘリ尙ホ承用馬車ノ改良ニ就テハ鋭意奨励ノ
結果現在獲護輪車十五輛ヲ算スルニ至レリ荷馬
車ハ時局ノ關係上多少減シタルモ荷車ハ却テ増
加シ目下一千三百余輛ニ達セリ其ノ他承合自勤
車營業ノ許可ヲ與ヘタルモアルモ亦々運輸ニ
至ラス目下大連市中ニ於テ自用車トシテ使用シ
居ル自働車六輛アルノミ

一、風俗取締 藝酌婦ノ特種營業婦女及下等飲食店
ニ於ケル密賣淫者ノ取締ニ就テハ最も苦心スル
所ナルモ亦々良好ナル効果ニ接セズ只管嚴重ナ
ル取締ヲ施シツ、アル、ミ因テ是等營業者ハ時
局ノ關係上多少不景氣ノ觀アルモ仍ホ相宜、収
入アルモノ、如シ

旅順管内

一、交通取締 旅順市街、道路ハ昨年来改修ヲ加ヘ
タル結果漸次整ヒ交通上ノ便益ヲ得ルモノ、多大
ナリ又市内交通機關ハ馬車人力車ニシテ現在馬
車數九十五、人力車八十六アリ前期ニ比シ馬車十
一、人力車二輛ヲ増加セリ此等取締ハ毎月定日
車臺馬區區具取者輓子ノ服裝ヲ檢查シ不良ナル
ハ廢車ヲ命シ又ハ一時營業ヲ停止シ且相互補修
セシメツ、アルモ服裝ノ改善ハ容易ニ其ノ実ヲ
擧グル能ハス

一、銃獵取締 銃獵免状ヲ下附セシ者三十五名内遊
 獵邦人二十八、支那人一、外國人一、職獵邦人ニ學術
 研究邦人三、之ヲ前年ニ比シニ二十五名ヲ減少セリ
 一、風俗取締 料理店ハ前期末三十九戸ヨリ三戸ヲ
 減セリ是レ市況ノ不振ニ依ルモノニシテ該營業
 状況ハ一ヶ月ノ揚高モキハ一千二百四十キハ一
 百二十五田内外ノモノアリ斯業者ニ願ヒテハ風
 俗衛生上最モ取締ヲ嚴重ニシ殊ニ抱藝酌婦ニ對
 スル金貨貸借上ノ欺瞞ヲ敢シテ暴利ヲ貪ル者
 アリ是等ハ發見次第仮借ナリ処分、方針採リッ
 、アリ飲食店ハ前期五十九戸ヨリ一戸ヲ減セル
 ニ過キカレモ耽レモ經營困難ノ状況ニ在リ藝酌
 婦ハ期末現在藝妓六十五名酌婦一百四十二名ト
 ス酌婦、減少ハ一時竜口ニ本稼セシニ因ル而シ
 テ該稼高ハ一ヶ月多キハ一百田内外少キハ三十
 田位ナリト云フ

金州管内

一、保甲制度ニ関スル状況 同管内支那住民ハ今ヤ
 保甲制度ノ精神ヲ領得シテ能ク地方規約ヲ守リ
 近來其成績益々顯著ナルヲ認ムルニ至レリ而シテ
 保甲制度ノ効果ハ獨リ匪賊警戒等ノミナラス教
 育殖産道路改良等會民ノ福利増進ニ努メテ施政
 ノ補助ニ任シ強固ナル聲望ヲ遂ケテアリ試
 二、保甲制ニ依リ施行シタル匪賊警戒ニ関スル一
 班ヲ記述セシニ本期七月二十一日ヨリ九月二十

日ニ至ル間例年ノ如ク実施セシニ乃チ本期ハ匪
賊ノ出没横行カハキ非アリシヲ以テ一層警
戒ヲ嚴ニセシメ莊河及揚州管内ニ絶ハス密偵ヲ
派シ海馬賊ノ動靜ヲ視察セシメタル結果專ニ陸
上ニ於テハ何等被害ナカリシモ海上ニ於テハ九
月一日黃岫子廟大孤山沖合ニ海賊現ハレ三十余
回ノ被害アリ尋ニ十一日大孤山ニ海賊團上陸、
報ヤリタルハ時ヲ移サス直轄警察官吏ヲ召集シ
專ラ之ヲ搜索逮捕ニ戮伐シ遂ニ其ノ十三日午後
二時該一團十九名ヲ逮捕シ取調タルニ大孤山沖
ノ被害モ是等一團ノ所為ナルコト判明セリ又阿
片吸煙者、如キモ近來上流ノ地位ニ在ル者或ハ
多少新教育ヲ受ケタル者ハ之ヲ避クルノ風ヲ生シ
漸次吸煙量ヲ減シ若クハ廢煙スル者ノ續出スル
如キハ全ク保甲制度ノ結果ナリト云フヘシ

四、土木

本期間土木ニ關スル重要事項ヲ記述スルコト尤、
如シ

一、土木工事

ハ大連道路築造工事施行區域ハ大連南方朝日町
大和町播磨町東病院通安吉利廣場薩十町但馬町
敷島町等ニシテ車道築造一千三百四十五間及廣
場圓形車道一千三百六十七坪側溝築造一千二百
四十九間歩道築造九百八十八間ニシテ全体ノ約
七歩道竣功セリ

(四)大連下水工事、大連及小崗子下水管理設泥濁
 枳築造大連大廣場排水設備現町ヨリ東公園町ニ
 至ル三番道路下水管理設人孔築造等ニミテ方寸
 管理設八十五間一尺管理設五百五間一尺五寸管
 埋設二十八間泥濁枳築造四百四十三個人孔築造
 十二ヶ所等竣切セリ
 (五)大連上水擴張工事、目今大連市、急務ニ係ル
 乃チ豫算一百二十九万四千計上ニ五ヶ年経續ヲ
 以テ経画シ本年度ヨリ着手ス該工事、大要及年
 割額等次ノ如シ
 ○工事、大要 烏蘭河、上流韓家屯ニ貯水池ヲ
 築造シ是ヨリ二十二吋導水管ヲ布設シ自然流下
 依リ約六ヶ所、下流ナル沙河口淨水池ニ導キ
 沈澄濾過シタル後送水唧筒ニ依リ送水スル、該
 計ナリ即チ貯水池面積十八万平方貯水池、容水
 量四百二十八万八千余噸供給人口十五万人一日
 給水量一万五千噸(五四〇、〇〇〇立方尺)
 ○工費年割額 三十万四千大正三年度三十二万内
 同四年度二十八万内同五年度二十四万内同六年
 度十五万内同七年度
 ○本年度工事 本年度施行スヘキ主ナル事業ハ
 貯水池堰堤築造、一部及用地買収家屋其、他障
 害物取除キニ對スル賠償事務所作業場、材料倉
 庫等、新築並ニ材料運搬用輕便軌條敷設等ニシ
 目下全体、六歩通)竣切セリ
 (六)金州管内大魏家屯官有荒蕪地、一部四十町安

ヲ水田トスル、目的ヲ以テ本年六月ヨリ開始ニ
著年シ築堤渾池振鑿等着手進行中ニシテ全体ニ
於ケル五歩通竣功セリ
小川内道路改築ニ関シ本年度ニ於テハ前年度ニ
引繼キ普蘭辰皮子嵩間ニ通スル唐家唐皮子嵩間
橋梁及暗渠全部完成、豫定ヲ以テ施行中八九月
、大洪水ニ遭遇シ多大ナル損害ヲ蒙リタル結果
夾河大楊樹河清水河、三大河ニ對スル架橋ハ設
計變更、必要ヲ認メタルタメ工費、嵩大止ムヲ
得ナルニ至リ暗渠工事及清水橋架設ハセリ繰延
ハ夾河大楊樹河ニ橋ヲ完成セシムルコト、セリ
而シ全体ニ於テ五歩通竣功セリ
ハ大連撤水設備工事、前年度、繰越工事ニシテ
総豫算三万四千七百五十圓、内一万百十圓八十
ニ錢ヲ以テ掘堤築造送水管布設在来遊水池利用
設備等ヲ施シ八月十八日完成セリ
小川内土木工事設計資料トシテ降雨量及河川、
流域流量状況等ヲ調査スル為端順管内急溝及皮
子嵩管内管テ河観側所ヲ設置シ時々状況ヲ調査
セシメツ、アリ又各地重要河川ニ量水標ヲ設置
レ所轄警察官吏派出所、於テ観側セシメツ、ア
リレニハ九月、大洪水ニ依リテ量水標ハ殆ビト
流失シタルヨリ目下復旧経画中ナリ
子旅順道路下水築造工事ハ前期ヨリ引續キ旧市
街道路及下水ノ施設トシテ下水幹線一百九間七
分人孔四何ヲ竣工ニ別ニ志海町其ノ他道路下水

工事トシテ車道七百二十坪入道三百四十五坪盛
土七十二坪側溝四百八十一坪二分下水幹線三百
八十四坪入孔四個雨水吸込柵三十三個ヲ落成
其他ハ目下施行中
(1) 工事及設計額一覽表左ノ如シ

工事名	設計額	着年	竣功	備考
大連、部				
大連、下水	一三、五二一	大正三年四月一日	施行中	直営
大連、道路築造	七、五三一	五月三十日	〃	繰越
道路橋梁下水	三、一〇〇	〃	〃	〃
大連、上水擴張	二九、〇〇〇	四月一日	〃	〃
州内道路改築	四、九〇一	大正三年九月三十日	〃	〃
州内道路改築	四、七〇九	大正三年四月一日	施行中	直営
大連、屯水田	一五、一〇〇	大正三年六月二十日	〃	〃
大連、撤水用給水設備	一〇、一〇〇	四月一日	施行中	繰越
道路維持	四、二九一	〃	〃	〃
下水維持	三、四一七	〃	〃	〃
橋梁維持	七、四七	〃	〃	〃
道路、普通水手入	一七、五七	〃	〃	〃
三等道路側溝新設	四、八五〇	大正三年五月二十日	〃	〃
小崗子道路側溝新設	六、三五〇	五月二十六日	〃	〃
北河河口地区内道路修繕	一、〇〇〇	六月二日	〃	〃
私設、下水	一四、三〇〇	四月一日	施行中	〃
國費測量調査	三、三〇〇	〃	〃	〃
地方費同上	一、一七	〃	〃	〃

旅順、部				
旧市街道路橋梁下水築造	二九〇三	〇一〇	大正三年四月一日	大正三年七月三十一日
忠海町其他道路下水	一九〇〇	〇〇〇	大正三年四月三十一日	施行中
三等道路側溝新設	一七三五	〇〇〇	大正三年七月四日	施行中
道路橋梁下水及道路	二九〇〇	〇〇〇	大正三年九月十日	施行中
五木水害復旧				

二、営繕工事

本期間施行ニ係ル廳舎其、他、新築及修繕ニシテ
主要工事ヲ掲グルハ次、如シ

長春警務署官舎新築其他	一三六八	一四〇五
鐵嶺警務署新築其他	七八九九	九七
遼原支署廳舎官舎新增築其他	一八二八	三九二
旅順民政署廳舎新築其他學校病院	一三〇二	一八九
遼陽警務署官舎新築	六七七	四六九
營口警務署官舎其他新築	五〇一	〇〇二
遼山興警務署官舎其他新築	六九一	四、五三
橋頭同上	四九六	九五四
毛居店支署官舎修繕	一七九	八、五六
金州民政支署漢武場新築	二四九	六、二八
普蘭店支署漢武場新築其他	四五六	五、二四
昌圖警務署官舎廳舎官舎修繕	一〇七	三、一二
春日町官舎有房屋修繕	一〇七	二、〇二
公主嶺支署官舎修繕	二六	一、二、六七
大魏家屯移民家屋新築	六、五〇	〇、〇〇
奉天郵便局廳舎新築	一〇	一、七、五、四、五九
朝日町官舎樓榭替	一九五	三、七九

已上

三土木行政

(イ) 一般土木行政 満鐵會社に頼る係る濱町海面埋立及同町仮防波堤築造工事ハ四月中許可ス。先年同會社ハ許可シタル寺見溝海面埋立工事ハ四月二十日竣切セリ。○前期中同會社ハ許可シタル旅順石炭樺橋前海底浚渫工事ハ八月中竣切セリ。

(ロ) 水道 大連水道ハ是迄給水、不足ヲ告ケツ、アリシカ殊ニ大正元年及同二年未曾有、旱魃ナリシ爲貯水、減ガリ来セシヨリ一月以降三月十五日迄、間時々断水シ六月十一日ヨリハ更ニ渇水量減少ノ爲地邑ヨリ劃リテ給水スルノ止ムナキ

ニ至リシカ其ノ後雨量増加ト共ニ湧水量モ亦漸々増加シタルヨリ以テ七月五日ヨリ全般ニ給水スルコトヲ得タリ

(ハ) 下水 私設下水規則ハ從來大連市ニミ施行セシモ七月二日新ニ旅順ヨリ施行已域ニ編入セリ。本期中許可シタル私設下水ハ合計三百六十八件、一万二千二百五十ナリトス

(ニ) 永久建築 本期中、許可ニ係ルモ、一百二十三件、一百九十三棟、五、百三十五、二、千三百七十三坪トス

(ホ) 私設橋梁歩道敷石 本期中、許可ニ係ルモ、満鐵會社ヲ始メ合計六件

五通信

本期間ニ係ル施設、主ナル事項ハ地況ノ消長ニ鑑
ミ連山関ニ郵便局ヲ設置シ草河口郵便局ヲ廢止シ
三十里堡外ニハ所ニ電信取扱所ヲ設ケ又本溪湖郵
便局ニ電話交換事務ヲ開始シタルコト及日獨開戦
ノ結果大連郵便局ニ軍事郵便交換事務ヲ開始シタ
ル等ナリ而シテ一般業務ノ成績ハ之ヲ前年同期ニ
比シ概シテ良好ナリト雖為替貯金ノ稍々減少セル
ハ蓋シ經濟界ノ關係ト金融機關ノ増加トニ伴ハル
結果ナルヲ認ムハシ歳入ノ状況ハ前年同期ニ較ヘ
増収額約四万六千餘円ナリトス今各事項ノ下ニ記
述スルコトナリ如シ

一局所

(一)郵便局廢止 安奉線草河口ハ鉄道停車場移轉
鐵道守備隊ヲ引揚等ニ本邦人ノ居住者漸次減
少シ郵便局ヲ存置スルノ必要ナキヲ以テ五月十
五日限リ草河口郵便局ヲ廢止シ同時ニ此ノ地方
ニ於ケル通信上ニ差支ナキ施設ヲ為セリ
(二)郵便局設置 安奉線連山関ハ安奉線鉄道改修
工事竣成後鉄道守備第四大隊本部及所屬ニテ中
隊新ニ此ニ移轉シ尚滿鉄會社ニ於テモ橋頭及鷓
冠山ノ西保線工務所ヲ撤シテ此ニ新設スル等
況漸次發展シ通信機關設備ノ必要ヲ認ムルニ至
リシヲ以テ七月十六日連山関郵便局ヲ設置シ電
信事務ヲ併セ取扱フ
ハ公衆電信取扱所設置 安奉線劉家河停車場附

近ハ薪炭木材等ノ產物輸出ノ關係上邦人居住者
カカラス又三十里堡停車場附近ハ大豆落花生ノ
產物アリテセカ取引上大連方面ヨリノ商人絶ハ
ズ未任シ從テ日支人ノ居住者亦カラス尚撫安
停車場ハ安奉線ト撫順線トノ接續點ニアル事換
駁ニ係リ已上三駁トモ相宜ノ通信力ヲ有スルヲ
以テ四月十一日ヨリ何レモ公衆電信取扱所ヲ設
置セリ

ハ無線電信局閉鎖 大連上海間航路旅順神九ハ
戰時特別任務ニ服スル為内地ニ回航シタルヲ以
テ八月二十六日至今ノ内神九無線電信局ヲ閉鎖
セリ

ハ自働電話所設置 七月一日ヨリ九月六日迄ニ

於テ九記ノ箇所ニ自働電話所ヲ設置セリ

本溪湖日本橋側

長春新市街東斜街

大房身駁場内

沈陽第四區北三街

大連臺岐町天神町角

ハ本期間ニ於ケル郵便切手賣捌所四十三及郵便
函十七ノ新設セリ其ノ期末現在數ハ九ノ如シ

郵便切手賣捌所

二百四十九ヶ所

郵便函

三百四十ヶ所

ニ郵便

ハ郵便集配已域變更 滿鐵本線大房身駁ハ從來
柳樹屯島ノ市外地ナリシモ九月一日ヨリ柳樹屯
乃大房身駁間ノ要渡處送リ請負ニ附セシ結果同

郵便物ハ郵便局設置ナキ他ノ主
 要郵便ニ於テハ例ニ倣ヒ當該郵便局長ト鐵道郵便係員
 トノ間ニ直接發着郵便物ヲ受授スルコトセリ
 (四)通常道路郵便線路廢止 安東縣新義州間通常
 道路通常郵便線路ハ朝鮮鐵道京新線上不便ニ致
 増加、爲該地間發着郵便物ハ主トシテ鐵道郵便ヲ
 利用ノ結果特ニ通常道路郵便ヲ存置スルノ必要ナ
 キヲ以テ四月三十日限りセテ廢止セリ
 (ハ)鐵道郵便取扱事務所管局一部改正 從來鐵道
 郵便取扱事務所管局ハ總ニ奉天局ニ於テ統一セ
 レモ營口支線ニ對スル業務通信夫ハ經費及辦務
 上ニ弊ハ營口電信局ヨリ綜合スコト、シテ五月一
 日ヨリ大連長春間及安東奉天間ヲ奉天局所管ニ
 大石橋牛莊間ハ營口電信局所管ニ改正施行セリ
 (ニ)大連上海間航送便減回 大連上海間航送便ハ
 同線便用船舶九カ内地ハ廻航スルコト、成リタ
 ル結果八月二十六日以降從來ノ每週五回地ニ回發
 着便ヲ五分、内每週五回地着着一回便ニ改正セリ
 (ホ)軍事郵便直接交換局指定 日獨開戦、結果大
 連局ヲシテ出征陸軍ハ衛軍隊ニ對シ滿洲朝鮮及
 在支那日本郵便局ニ發着スル軍事郵便直接交換
 事務ヲ取扱フコト、九月五日ヨリ施行セリ
 (ハ)急行列車ニ依ル鐵道郵便減回 歐亞大戰亂、
 影響ニ依リ滿鐵會社ニテハ大連長春間及奉天全
 山間各每週上下三四回、急行列車發着回數ヲ各毎
 週上下一回發着ニ減少シタルヲ以テ之ニ依ル鐵

通郵便モ亦九月十七日（安奉線ハ九月十五日）ヨ
リ相準シテ減面セリ
（一）吉長鐵道ニ我郵便物搭載開始 本項日支兩政
府間ノ協定ニ依リ七月十五日ヨリ支那郵傳局ニ
託シテ運送ノ開始ニ同時ニ從來ノ通リ通信未達
送便ハセテ廢止セリ

二 電信

（一）電信取扱所電報受付時間制限設定 四月十一
日開始劉家河電信取扱所ニテハ時間外ノ取扱ヲ
為サ、ルコトセリ

（二）電信取扱所電報受付時間制限廢止 連山關草
河口通達堡及鳳凰城電信取扱所ニ於テハ電報受

付時間外ノ取扱ヲ為サ、リシモ連山關附近ニハ
獨立守備隊本部移駐シ草河口ハ同地郵便局廢止
ノ結果電信事務ハ同電信取扱所ニ於テハ取扱
フコトニ成又通達堡及鳳凰城ハ地況漸次發達シ
電報受付時間制限ノ不便ナルヲ認メ六月十一日
ヨリセリ制限ヲ廢止セリ

（三）電信事務開始及電信取扱所配達事務廢止 七
月十六日連山關局設置ト共ニ電信事務ヲ併セ取
扱フコトニ同時ニ該地電信取扱所ノ配達事務
ヲ廢止セリ

（四）電信取扱所電報受付時間制限廢止 安奉沿線
ノ石橋子福金南坡下馬塘劉家河秋木莊五龍背旅
順ノ各電信取扱所ニ於テハ從來電報受付時間外

二電報、取扱ヲ為サ、リシモ已上各地ニハ我軍
隊駐在スルヲ以テ現下、時局ニ関シ電報受
上不便少カラス由テ八月二十ハヨリ受付時間
ノ制限ヲ廢止セリ

四、電話

(一)電話交換開始 本溪湖ハ石炭及鐵ノ產地トシ
テ近時益々繁盛ヲ加フルニ從ヒ市街漸ク擴張セラ
レ各地ト、取引亦頗繁ニ起キ市田相互間ハ勿論
市外遠隔地トモ電話ヲ以テ急速ニ用辦、必要ヲ
生シ同地に住者中電話交換ノ開始ヲ熟望スル者
多ク、交換業務ノ施設ニ要スル費用及物品勞力、
幾分ヲ無償ニテ提供スルコトヲ條件トシテ加入

ヲ申出ル者十數名ニ達セシヲ以テ開索四平街、
例ニ倣ヒ工事用物品ヲ無償提供セシメ加入區域
ヲ鐵道附屬地トシ土地ノ種別ヲ而地ト定メ七
月一日ヨリ電話交換事務ヲ開始セリ

(二)電話區域擴張 本溪湖市況、繁盛ニ伴ヒ同地
ト大連及長春ト、電話連絡ヲ必要トシ七月一日
ヨリ電話交換事務ヲ開始セリ長距離通話ヲ開始
スルコト尤ノ如シ

大連本溪湖間

一通話時ノ料金一圓四十錢
一回ノ呼出料金三十錢

本溪湖長春間

同上 上金一圓十錢
同上 上金二十五錢

五、電信電話回線

煙臺局電報送受用トシテ裝置、電信機械ヲ廢シ
電話機ニ改メタル結果八月二十一日ヨリ電信回

線ヲ變更セルモノ如シ

(一)海城奉天城線 此ノ回線ニ接續シヤリタル煙

台局ヲ除キ酒城遼陽奉天奉天驛奉天城、五局所

接續、一回線トス

(二)煙台奉天線 海城奉天城線ト在来、舊宮口奉

天線トヲ以テ煙台奉天間ニ電信電話ヲ信法ヲ施

行シ煙台蘇家屯奉天三局接續、一回線トス

(三)奉天蘇家屯線 前項煙臺奉天線構成ト共ニ本

回線ハ廢止ス

時局ノ影響ヲ受テ通話頻ニ激增、結果奉天及其

ノ以北ト宮口及大連間ニ非常ノ輻輳ヲ来セルコ

トヲ九月一日ヨリ電話回線ヲ新設及改稱スルコ

ト尤、如シ

(一)大石橋奉天電話ニ番線 舊ニ奉天電話線ニ重

信法ヲ施行シ本回線ヲ構成ス

(二)大石橋奉天電話ニ番線 前項ニ番線新設、結

果在来、大石橋奉天線ヲ一番線ト改稱ス

時局ノ爲奉天長春間通話輻輳ニ在来、電話一回

線ニテハ疏通困難ナルヲ以テ奉天長春間電話線

ヲ増設シ九月十六日ヨリ電話回線ニ新設及改稱

セルモノ尤、如シ

(一)奉天長春電話ニ番線 新設

(二)奉天長春電話ニ番線 前項ニ番線新設、結果

在来ノ奉天長春電話線ヲ一番線ト改称ス

六、雜件

小柳樹屯大房身間鐵道郵便受渡線路ハ其ノ延長一里有余ニ達シ通信大一名ニ要セシモ同面地間ニハ「丁」郵便アリテ貨客ノ運輸營業者アルヲ以テ郵便物ノ運送ヲ請負ハシメ該処配置ノ通信夫ヲ減セリ

四郭家店及范家屯鐵道附屬地ニ支那郵便局設置ノ件豫ニ支那側ヨリ要求アリタルニ對シ普通及書簡郵便物並ニ小包郵便物ノ引受運送及配達は限リ取扱フコトヲ條件トシテ七月十五日ヨリ開始セリ

ハ九月一日ハ都督府始政八周年ニ相違スルヲ以テ記念ノ為大連旅順面局ヲシテ繪葉書ノ引受ニ特殊日附印ヲ使用セシメタリ

七、本期間各業務成績ヲ概計スルコト尤ノ如シ
通常郵便物数

引受六、六二九、六六三
（有料 六、〇一二、二三四
無料 六一七、四二九

配達八、六九三、一二二
小包郵便物数

引受八二、六三四
（有料 七六、八三六
無料 五、七九八

配達一、六四、四五五

為替取扱数

振出	口数	金額
一、四九、八七六		
一、八九五、一八六、五五〇		

拂渡	口数	金額
六〇、四〇二		
一、〇〇一、一八二、九三〇		

取立金取扱数

受入	口数	金額
五八、五七九		
一、〇六七、四三二、五六〇		

拂渡	口数	金額
一九、五三二		
三〇九、五四一、四五四		

貯金取扱数

預入	口数	金額
一、四八、一二五		
一、一五六、七四二、三四五		

拂渡	口数	金額
四一、七〇〇		
一、〇九六、四八〇、九五三		

振替貯金取扱数

拂込	口数	金額
四八、四二九		
四、〇三〇、八二〇、二五六		

拂渡	口数	金額
一一、七四〇		
三、九四八、四九五、一八四		

電報通数

発信	口数	金額
四八六、二五八		
有科 四一七、一三二		
無科 六九、一二六		

電信通話度數及加入者數

有科 四〇〇、一二四
無科 五、三九三

市內 一〇、六〇五、六九七
市外 一、二八八、八一八

加入者數 四、〇二〇

種別	郵便線路里數	
	大正三年四月一日現在	前年同月同日比増減
通常道路	二九三、四四〇	▲四一里一、二〇〇
鐵路	六九一哩	二七三、三三二
水路	五八〇哩	六九一哩
		▲四二里二、四二〇

電信及電話線路里數

種別	電信線路		電話線路	
	市外		市內	
	警署 公用 延長	延長	延長	延長
大正三年四月一日現在	一、一八二、一八三	一、一八二、一八三	一、一八二、一八三	一、一八二、一八三
前年同月同日比増減	▲一、一八二、一八三	▲一、一八二、一八三	▲一、一八二、一八三	▲一、一八二、一八三
大正三年九月末日現在	一、一八二、一八三	一、一八二、一八三	一、一八二、一八三	一、一八二、一八三
前年同月同日比増減	▲一、一八二、一八三	▲一、一八二、一八三	▲一、一八二、一八三	▲一、一八二、一八三

六、監獄

一、在監人、増減 本期間受刑者ノ入監ハ合計一百
四十八人（本邦人七十、支那人七十七、朝鮮人一）ニ
シテ前期ニ較ハ十四人ヲ加フルモ在監總負一日平
均人負ハ前期ノ三百二十七人ニ對シ三百二十五人
ニ減セルハ刑期ノ關係ニ由レリ昨年来地方ノ不景
氣ニ伴ヒ勞働者ノ退轉セル結果トシテ在監人減少
、頗向アリ乃千九表ノ如シ

在監人出入表

自大正三年四月
至三年九月
六月間

類	別	越人負入監出監末日陽負
朝韓人	男	男
三	二	女
一	三	計
二	六	男
一	二	女
二	六	計
一	七	男
	三	女
	二	計
一	七	男
四	五	女
	三	計
	九	男
	二	女
四	一	計

[illegible]

一百四十八人中財産ニ関スル犯罪ハ窃盗七十三強
 盗十七、詐欺横領三十四、合計一百二十四人ニシテ即
 チ総數ハ八割強ニ當ル自餘ハ犯罪ハ賭博四、根藝致
 傷及共通四、殺人四、傷害三、文書通貸及有價証券、偽
 造九、合計二十四人ナリトス而シテ強盜犯ハ全部十
 七人トモ志ヲ支那人ナリ又已上受刑者ノ刑期ハ無
 期一人五年以上十七人、一年以上五十人、三月以上
 七十二人、三月以下及管刑二人、勞役場留置二人ナリ
 トス
 三、拘禁及戒護 日支人及異罪質刑期等ヲ據シ臨獄
 上通事、区公ニ依リ拘禁ヲ為シ又戒護振束ハ始
 嚴正ヲ保チ為ニ建築耕耨等外從事項ノ多端ナリシ
 二係ハラス非モ其ノ他一モ非常事故ナキヲ得タリ
 即チ懲罰ノ如キ亦減食十五件、叱責六件ニ過キス而
 シテ犯則ノ性質ハ爭論多尙、十一件ヲ具ノ重ナル
 モ、トス不在監人ノ親族具、他ハ獲信五百二十一件
 受信三百九十七件ニシテ接見八十一件ナリ
 四、減刑 昭憲皇太后宮ノ御大藥ニ際シ減刑ノ恩波
 ニ浴セシ者本邦人一百三十八人、支那朝鮮人合計一
 百四十一人ナリトス
 五、教誨及教育 毎月曜及祝祭日ニハ初犯者及再犯以
 上ノ囚人ヲ各別ニ集合シテ教誨ヲ施ス之ヲ集合教
 誨トシ入監時旌免時賞罰時書信接見遭喪等苛モ改
 過遷善ノ動機ヲ凡毎ニ於テスルヲ何人教誨トシテ
 懲罰倫理宗教的ノ感化ニ努メ未下年者ニハ國民教
 育ヲ施シ仍ホ放免ニ際シテ旅費十千、徒具ノ他如

年者等保護、必要アルモノニ對シテハ豫テ旅順大連、各寺院ニ協定スル所ニ依リ相違保護ヲ加ヘ居レリ

六、衛生状態 前期ハ在監者延人負九万九千五百九十九人ニ對シ、患者延人負三千七十七人即チ五二四布仙強ニシテ本期ハ在監者延人負五万九千五百八十五人ニ對シ、患者延人負二千五百四十一人即チ四二六五布仙ニ係ル此七者ハ前期ト同シ、六人ナルモ患者延人負ハ減少セリハ治療上ハ成功ナルヲ認ムハ若夫大正二年以前一ヶ年死七者二十四名ニ達シタルニ比スレハ患者及死七者共ニ半減シ成績最モ佳良ナルモノト謂フハシ

七、作業成績 本期作業収入ハ七千二百九十四ニシテ前期ニ比シ一千七十圓ヲ増加セリ即チ九表ノ如シ

種目	囚徒工錢及製作收入		大正三年度 自四月至九月	
	製作收入	及囚徒工錢		
種	五五九	九九〇		
葉	二二六	六四〇		
麻	八二八	九二〇		
大	二九四	〇二〇		
紙	三〇一	一五〇		
練	二六七	三七〇		
紙	四四五	五一〇		
封	一六二	二七〇		
桶	四四九	三八〇		
裁				
縫				

靴	墨	印	鐵	耕	高	細	竹	簾	雜	合
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	計
八六二	一六八	一六二	七二	九七	一〇八	六四	二一	二一	七	七二〇九
九七〇	一五〇	五〇〇	八一〇	七〇〇	一四〇	二〇〇	九〇〇	四〇〇	一〇〇	一二〇〇

七臨時土地調査

土地調査事業大正三年五月十一日 茨城県東州土地調査令ニ依リ臨時土地調査部ヲ設置セラレタルニ始メル而シテ本期間ハ主トシテ事業ノ企劃ニ從事シ基礎測量ノ外ホタ美地作業ノ運ニ至ラス今測量ノ基礎事業トシテ施行シタル成績ヲ擧グハル如ク

一、基礎測量 基礎測量ヲ雙頭渡、金州及普蘭店ニ選定シ五月十三日より測量ニ着手シ八月十九日外業ヲ終ヘ九月五日整理ヲ卒ヘ本測量ヲ完了ス

二、大三角基点測量 六月五日 旅順民政署管内ヨリ署手シ順次北進シテ九月二十三日迄ノ間ニ於テ二十里堡ヨリ董家溝ニ通スル以南ヲ完成ス選定點及選標二十三點觀測三十點ニシテ目下其ノ計算中ニ

属ス

三大三角補點測量 六月十五日ヨリ暑手ニ大三角

本點區域ニ於テ造標三十七點觀測ニ十八點ヲ完

成ス

四、三角測量 六月二十五日旅順民政署管内ヨリ

暑手ニ順次北進ス選點一百二十一點觀測十四點ニ

シテ殆ント本管内全部ヲ完成ス

八、以上、外本項ニ関シ各署ニ於ケル主要ナル事項
ヲ舉クレハ左ノ如シ

大連管内

一、水道 本期間ニ於ケル配水量ハ六十四万八千

關東

三百八十三立方米突ニシテ之ヲ唧筒運搬ニ要シ

タル石炭ハ撫順切込ニ六百一頓トス而シテ量

水番、新設裝置及試験モタル樹、製作器具

、製作修繕鉋管線路、巡視並ニ濾過池、研洗等

ニ要シタル日本鐵工一千七百一十一人同人夫三百

三十二人支那職工一千三百八十七人同人夫二千

百五十四人ナリ又此、期間ニ於テハ大正二年度

ニ係ル擴張工事中相繼新設鉋管會社私有鉋管ヨリ

海港擴張所ニ至ルモノ、道路、基礎確定セサ

ルヲ以テ繰越シタル一部ヲ竣功セリ其、鉋管延

長ハ四吋一百九十間六分六寸二間四分合計一百

九十三間ナリトス今本期中給水状態ヲ示スエト

九、如シ

月別	區分		家 事 用	湯 屋	噴水、散水	琉 璃 動 力	工 事 其 他	航 船	計		
	檢 數	水 量									
四月	二七、二二	七、四〇八	一九	六、三四五	一四	一、〇〇二	四八	一、四六八	三〇	九、六三三	一〇、二七九
五月	二七、六六	七、九七七	一九	五、三三九	一六	二、〇九〇	九一	一、七、七三五	四四	二、二七四	一一、八五三
六月	二八、二二	七、九七五	一九	五、二一一	一六	一、一八	五〇	一、三、〇六一	三三	八八八	一〇、八、七三〇
七月	二八、六〇	七、五八六	一九	三、二〇四	一七	五七三	五〇	一、〇、三二三	三四	九、九九	九八、九二八
八月	二八、八三	八、九二一	一九	三、八九九	一八	五、六三	五〇	一、二、八四四	三三	一、四九七	一一、五、九七〇
九月	二九、〇〇	七、七九三	一九	三、四七一	一七	六、五六	五一	一、二、二九四	三三	一、二、五八	一〇、三、一一一
計	二七、二二	七、四〇八	一九	六、三四五	一四	一、〇〇二	四八	一、四六八	三〇	九、六三三	一〇、二七九

一、救育 本期間救育費可以以救済シタル精神病
及行旅病者、前期ニ比シ其ノ教ヲ激増セシハ全

關東

一、季候ノ關係ニ基クモノナルハシ即チ精神病者
 ニ於テモ、行旅病者ニ於テモ、難民ヲ於テ一旅費
 貸與歸國者ニ於テ九ニシテ此ノ外ホ十字社大連
 支部收容人復合計十アリ以テ参考ニ資ス
 一、若力具ノ他收容所 前期ニ於テ人力車夫合宿
 所ニ事帶者宿舎一棟ヲ増築シ尙ホ見溝若ク收容
 所ニモ同様増築シ本期ニ於テハ人力車收容所ニ
 馬車收容所、新築中ナリ而シテ瀋家屯若力收容
 所、若カハ時局ノ關係上九月末頃ニ一百余名ノ
 減少ヲ見タリ
 一、水道 本期間ニ於ケル揚水量ノ前年同期ニ比シ
 一万七千噸余ノ増加セルハ曾テ大連水道、一時
 断水、爲メ満鉄會社カ汽罐用水ヲ本水道ヨリ需

要セルト海軍艦艇用水、俄ニ増加ヲ来セルトニ
因ル今本期間給水状態ヲ示スコト九表、如シ

月別	普通家乗用	湯屋營業用	噴水、源泉、抽水	動力、消防用水	工事、其他、臨時用水	船舶給水	其他	計
	柱数	水量	柱数	水量	柱数	水量	柱数	水量
四月	一五五	三、二六六	二	四七八	一八一	一、九四一	三	一、〇〇二
五月	一六〇	二、八七七	二	七二一	一一一	九八	三	一、三三四
六月	一五九	二、五七七	二	四八三	一一一	一三四	三	九六七
七月	一五九	二、八二七	三	四九〇	一一一	一六	三	九八二
八月	一六七	二、〇二〇	三	六四〇	一一一	三一	三	九六〇
九月	一五六	三、八六九	四	九一一	一一一	四	三	八三八
計	一五三、二六〇	三、二八三	一八九	二四一一	三、四六〇	二七四	一七、〇九四	二、四七三

一、電気 本期間電燈総数ニ於テ二十燈、増加ナ

ルモ官廳、經費緊縮ニ況、不振等ニ依リ、電燈數
及燭力ニ於テ漸次減少傾向ナリ、本期待ニ注意シ
タルハ、發電機所機關、雖除去方法ナリトス、乃
チ從來清浄法トシテ、加性費連ヲ使用セシカ具、
効力甚々薄弱ナル為メ、給水、分折、強順工科学
重ニ依テ調査シタルモ、未タ好例、清浄剖ヲ發見
セズ、目下研究中ナリ、本期間電氣供給状態ヲ示ス
コト九表、如シ

定時燈	戸数	燈数	不定時燈	戸数	燈数	第一種臨時燈	戸数	燈数	孤光燈	戸数	燈数	電燈 総電量
	一六三七	七、二九八		二八一	二四、四		二	二五		二	六	四一、一六一、五六〇